

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

とばたこうんゆ
戸畑港運輸グループ

代表取締役会長

ひめうが しょうごう

日向 祥剛氏

取引店／福岡銀行 戸畑支店

鉄鋼の街・北九州市を支える総合物流サービス企業

港湾荷役から運送まで
一貫したサービスを提供

当グループは1922年7月に日向安吉が合

資会社丸加回漕店まるかかいそうてんを福岡県若松市（現在の北

九州市若松区）に設立し創業しました。創業当

時は船舶回漕業とともに港湾荷役業に携わり、

石炭を主な取扱品として物流サービスを展開し

ていました。その後日本製鉄株式会社日本製鉄株式会社が八幡地

区から戸畑地区へ工場を移転したことを機に、

1958年戸畑港へ進出し、いくつかの会社を吸
収合併して新たに戸畑港運輸株式会社を設立
しました。

石炭荷役の斜陽化とともに、移り変わる顧客

のニーズに対応する形で事業の内容を変化させ、

現在当グループは港湾荷役から倉庫保管、運送

まで一貫した物流サービスを提供しています。響

灘地区・洞海地区・小倉地区にて運用する倉庫

は主なものだけでも40棟を超え、製鉄関連の原

材料や鋼材から日用品まで取り扱い、港湾荷役・



戸畑港運輸株式会社 堺川作業所



戸畑港運輸株式会社 本社



2024年9月竣工 戸畑物流株式会社 西港センター

保管・運送を合わせた貨物取扱量は年間100万トンを超えるまで成長しています。

また当グループは、大手製鉄会社を主要取引先に洞海地区で事業を展開する戸畑港運輸株式会社、物流センターを保有し小倉地区で営業する戸畑物流株式会社の2社を中核として、不動産を管理する戸畑興産株式会社と太陽光発電

による売電事業を行う戸畑自然エネルギー株式会社の4社で構成され、それぞれの会社が自社の役割を果たしながら事業を行っています。

総床面積4万6千㎡の

マルチテナント型物流センター

「西港センター」を竣工

戸畑物流株式会社では2024年9月、小倉地区の西港に当グループの第2号となる物流センターを竣工しました。

本物流センターは鉄骨2階建てで、2階はスロープからトラックが直接乗り入れて搬出入が可能となっています。またマルチテナント型の物流施設であり、複数のテナントで1棟の倉庫を共有するシステムを採用しています。契約する事業者が自由にレイアウトできるようにそれぞれのフロアを広く設計した造りで、快適な作業環境が整った大型倉庫を利用したい物流業者にとって最適なシステムとなっています。

施設は北九州市高速道路の日明ランプから約1キロに立地しており、北九州市と山口県下関市を新たに結ぶ「下関北九州道路」計画のルートにも近く、物流拠点としてのポテンシャルは非常に高いと思われます。北九州市における



2024年9月 戸畑物流株式会社 西港センター竣工式(中央:日向祥剛戸畑港運輸株式会社社長、右から3人目:野中宏之福岡銀行常務執行役員)

物流センターとしては最大規模となり、今後当グループの中核となる施設と期待しています。

脱炭素社会の実現への貢献と 社員の安全や生活を守る取り組み

物流サービスでは大量のエネルギーを消費します。そのうえ危険を伴う作業も多いため、常に環境に配慮した事業活動を行うとともに、社員が安全で働きやすい環境を整えることが重要です。

広大な倉庫の屋根を活用し 再生可能エネルギーを供給

当グループで保有している倉庫は、主なものだけでも合計で6万6千㎡以上の床面積と、ざっと東京ドーム1.4個分相当になります。当グループは倉庫などで使用する電力量を可能な限り抑えながら、この広大な倉庫の屋根に太陽光発電設備を設置して再生可能エネルギーの供給を行っています。野立ても含めると、設置した太陽光発電パネルの発電容量は約5,800kW、年間の発電量は一般家庭の約1,400世帯分に相当します。



戸畑物流株式会社 戸畑物流センター

スローガン「ルールを守る職場の定着 相互注意で目指すゼロ災害達成」

取り扱う貨物の中には、重さ数トンのコイルなども含まれます。重量物を運んだり運送する作業は常に危険が伴うため、当グループでは社員の安全と業務の品質を最優先にする意識を向上させるとともに、あらゆるリスクを低減するための活動（取り組み）を施策として取り決め、

毎月勉強会を実施して実施状況をチェックしています。

働きやすい職場環境を整える

近年物流業界では人手不足が深刻化しつつありますが、当グループでは幸いにも社員に恵まれており、現時点では支障なく業務運営ができています。しかし会社の持続可能性を高めるためには、さらに社員から選ばれる、魅力のある職場づくりが肝要です。社員のスキルアップ支援や、時間外労働の削減、休暇が取得しやすい環境の整備、女性が働きやすい職場環境の整備他、すべて意識して取り組んでいます。今後も常に改善点を探し、対応・発展させていくことが大事だと思っています。

地元北九州とともに発展していく

北九州市では、陸・海・空の結節拠点周辺エリアを中心に物流関連施設の集積を図り、また多種多様な物流ニーズと時代の変化に対応できる街を目指して「北九州市物流拠点構想」を策定

しています。構想では現在北九州市が抱える物流課題の解消に向け9つの施策の柱を設定しており、そのどれもが当グループが現在実施している施策そのものです。

当グループは若松で生まれ、戸畑で育った物流企業です。今後も様々な社会貢献活動を行いながら、鉄鋼の街・北九州市の経済発展を支え、ともに成長・発展していきたいと思っています。

サステナブル ファイナンスを活用

2024年5月、物流センター建設のための資金調達として（FFG）ポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用しました。

本ファイナンスは当グループの事業活動やサステナビリティの取り組み、活動目標などを銀行が整理・評価し、融資実行と同時に評価書として発行していただく融資商品です。

融資実行後も状況を銀行へ報告のうえ、当グループのサステナビリティの取り組みについて伴走支援いただくこととなりますが、当グループが今後もますます成長・発展できるよう、しっかりとフォローしてくださることを期待しています。



（FFG）ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈（左から日向祥隆戸畑港運輸株式会社社長、日向祥剛戸畑港運輸株式会社会長、関塚幸太郎福岡銀行戸畑支店長、日向啓剛戸畑物流株式会社副社長）

戸畑港運輸グループ

＜本 社＞ 〒804-0071 北九州市戸畑区川代二丁目4番1号 093-871-1721（4社共通）

■戸畑港運輸株式会社／港湾運送業、貨物自動車運送業、鉄道貨物取扱業、倉庫業、不動産賃貸業、船舶代理店業、発電業

■戸畑物流株式会社／貨物自動車運送業、倉庫業、不動産賃貸業、発電業

■戸畑興産株式会社／不動産賃貸業、発電業

■戸畑自然エネルギー株式会社／発電業

＜主な事業所＞

■戸畑物流株式会社・西港センター 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町9番3号 093-562-1800



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社

トータルハウジング

代表取締役

わた なべ

こう たろう

渡邊 孝太郎氏

取引店／熊本銀行 鹿児島支店

「安心・安全・感動する家」
ツーバイフォー住宅建築専門のハウスメーカー

人が生活するのに必要な
衣食・住のうち
食・住に関する事業を展開

当社は1991年に鹿児島県鹿児島市で注文

住宅の建築専門会社として創業しました。創業後まもなくツーバイフォー工法による住宅建築を始め、現在では本社を含め8拠点を設置、ツーバイフォー工法による建築住宅の供給戸数は鹿児島県においてNO.1を誇ります。

また関連会社が3社あり、在来の木造軸組工法による住宅建築を行う株式会社感動、住宅のリフォーム事業を行う株式会社孝匠、またフランチャイズの飲食店を展開する株式会社食物語にて事業を展開しています。



上段:右から本社ビル、谷山支店、霧島支店、始良支店／下段:右から鹿屋支店、薩摩川内支店、南薩支店、都城支店

独自の技術・ルールにより
耐震性・耐火性に優れ、
かつ高気密・高断熱による
高い環境性能を実現

当社でつくる家はツーバイフォー工法の元々の
特長に当社独自の技術やルールを加え、より高
い安全性や環境性能を有しています。

ツーバイフォー工法による建築の場合、家全体
がモノコック構造（一体構造）になります。地震や
台風などによる外部からの力を受けた場合、力
や過重を1箇所に集中させることなく家全体で
受け止めるため揺れを抑え、高い耐震性を実現
します。また床・壁などが火の通り道を遮断する
ことにより高い耐火性も実現しています。その性
能は、災害時に拠点となる消防署や警察署など
と同じ耐震等級3の基準を満たし、当社で建築
した家は長期優良住宅や住宅性能評価制度の
評価を取得しています。

また当社は通常高気密住宅として求められる
よりさらに高い気密値基準を設け、通常の高気
密住宅の2倍以上の気密性を実現しています。
他にも当社独自の技術やルールを設けており、
断熱性能も相まって環境性能に大変優れた家を
提供しています。

トータルハウジングの平屋

当社は安心・安全な家であることに加え、住み
やすく、快適な家づくりを追求しています。デザ
インや設計は建築する土地の形状や要望に合わ
せて、お客さまの納得がいくまで打ち合わせを重
ねて決定します。



株式会社トータルハウジングの平屋デザイン（一例）

打ち合わせの際、当社が多くのお客さまへご提
案するのは平屋の家です。平屋住宅は近年人気
が高まっており、特に鹿児島県では建築実績の
50%以上が平屋です。日本古来の平屋住宅のイ
メージとは異なり、ロフトを作り1階建ての中で
空間を縦に使うなど、様々な工夫が可能となっ
ています。

平屋の家は階段がないため建築面積のロスが
少なく、掃除がしやすい、ライフスタイルに合わ
せた動線を確保しやすい、天井高を高く開放的
な空間を作りやすいなど、住みやすさ・快適さ
において様々なメリットがあります。

加えて、構造がシンプルになるため耐震性にお
いても優れており、また建物が低い分メンテナンス
にかかる費用が少なくて済む、屋根面積が広
く太陽光発電パネルの設置面積が広くとれるな
ど、環境面でも非常に優れています。

感動の家づくり

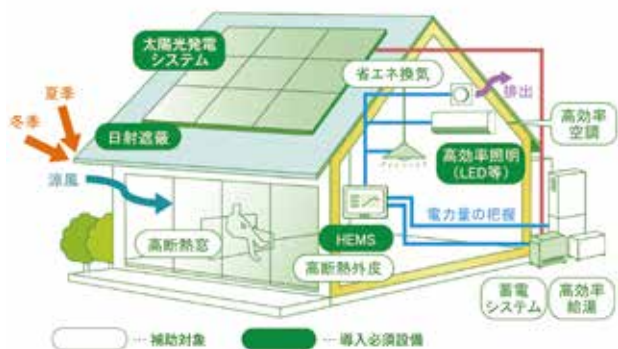
当社は経営理念に「感動の家づくり」を掲げ
ています。その前提として心掛けているのが「お
もてなしと気づきの精神」です。お客さまの要望
に即応することは当然として「じっくりとお客さ
まの話を伺い、細やかな部分に耳を澄ませてお客

さまの心の声を察知する「感性を持つ」というスタンスを大切にしています。

完成した家を見て感動いただき、長年住んでもその感動が維持される、そんな家を提供していきたいと思っています。

環境に配慮するとともに 社会貢献・地域経済の発展を目指す

ZEHへの取り組み



ZEHとは
ネット・エネルギー・ゼロ・ハウスの略で、外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギーを実現した上で再生

可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅です。

ZEHはエネルギー消費を抑えて脱炭素社会の実現に貢献するとともに、経済性や快適性・健康性に優れ、さらに災害発生時の停電などにも強いなど、様々なメリットがあります。当社は①高効率な住宅設備・照明設備、断熱性能の高い樹脂サッシの採用による「省エネ」、②太陽光発電システム搭載による「創エネ」、③HEMS(ホームエネルギー・マネジメントシステム)によるエネルギーの



鹿児島県南九州市頰娃町 太陽光発電所

「見える化」、以上の3点の取り組みで先進的なゼロエネルギーハウスの実現を目指しています。

また当社ではほかにも脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、鹿児島県南九州市頰娃町に約800kWの太陽光発電パネルを設置して電力発電・供給を行っています。本発電所では一般的な家庭の約200世帯分の年間電力量を発電し、供給しています。

持続可能な社会を目指して

鹿児島県の人口は、1955年の204万人をピークとして2023年には155万人へ減少しており、今後も減少していくことが予想されています。引き続き地域社会が発展していくためには、魅力のある街づくりと新たな雇用を創出することが肝要だと思っています。

当社の社名は「家づくりに関するすべてのサービスを提供する」ことから名付けました。その社名の通り、我々は人々へ安心・安全で且ついつまでも住み続けられる家を提供したい。そのうえで自社が発展することで新たな雇用を生み出しながら、魅力的な街づくりに貢献したい。それが、ひいては自社の発展にもつながり、さらに地域社会が発展していく。そんな好循環を目指しています。

サステナブルファイナンスを活用

2024年9月に取引いただいている熊本銀行にてFFGポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用しました。この融資商品は当社の事業



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈
(左から渡邊孝太郎社長、熊本銀行鹿児島支店 渡邊耕助支店長)

活動やサステナビリティへの取り組みを整理・分析・評価していただき、融資実行と同時に評価書を発行、ホームページなどで公開するというものです。評価書の詳細はホームページなどで確認いただけると幸いです。

評価していた
だく際、今後の活動目標も新たに設定しています。目標に対する進捗について銀行に
伴走支援していただくこととなりますが、取引
いただいている熊本銀行には当社の
持続可能性を高めるため、また地域経済の発展のため、しっかりと
フォロー・ご指導をお願いしたい
と思っています。

株式会社 トータルハウジング

- 本社所在地：〒890-0032 鹿児島市西陵三丁目28-22 トータルハウジング8ビル
- 電話番号：099-210-5120
- 事業内容：注文住宅の設計・施工・販売（ツーバイフォー住宅を専門として提供）



〈関連会社〉

- 株式会社8ホールディングス／持株会社
- 株式会社感動／注文住宅の設計・施工・販売（在来軸組工法を専門として提供）
- 株式会社食物語／フランチャイズによる飲食店経営（6ブランド・全21店舗）
〒890-0032 鹿児島市西陵三丁目28-22 トータルハウジング8ビル（3社共通）
- 株式会社孝匠（再生工房 タカショー）／リフォーム、基礎、外構工事
〒891-0113 鹿児島市東谷山七丁目23-12

FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社 高田牧場 たかだ ぼくじょう

代表取締役

高田 紳次氏 たかだ しんじ

取引店／十八親和銀行 有家支店

「牛と共に（人牛一体）」

長崎県内唯一の褐毛和種肥育業者

当社は創業者である高田倭男しすおが1970年に長崎県南島原市にて個人創業し、数頭の肉用牛肥育を開始しました。創業当時は1頭ずつ牛を柵の中に囲い管理をしていましたが、肥育経営から繁殖・肥育の一貫経営への体制変化や牛舎の新設等を行ってきました。2006年に私が代表取締役に就任した際には肥育頭数が350頭でしたが、現在では1,000頭以上の肥育頭数まで

拡大しました。黒毛和種・褐毛和種・交雑種などの多様な品種を飼養して、一般肥育や老廃肥育など素牛の状態に応じた生産方式を採ることで多彩な牛肉を生産しています。長崎、福岡、熊本などのスーパーやレストランに年間400頭の自社ブランドである「雲仙和牛」「雲仙あか牛」を出荷しています。現在では、長崎県内唯一の褐毛和種を肥育する事業者となりました。

当社は創業者から受け継いだ「牛と共に（人牛一体）」を経営のテーマに掲げて、手と目と愛情



褐毛和種

をかけて、牛が健康に育つ快適な環境づくりに全力で取り組んでいます。当社の従業員はただの作業員ではなく、日々牛と向き合い「どうしたら牛の能力を100%まで引き上げられるだろうか」と試行錯誤しながら働いています。徹底的に牛と向き合う姿勢が、私たち高田牧場の強みでもあります。大切に育てた牛は、安心安全で脂がさっぱりとした肉の味がしっかりと味わえる高品質な肉となっています。

安心安全はもちろんのこと、この長崎県の南島原市から褐牛・和牛を通して地域の発展と元氣や活力が生まれてくれることを思い一生懸命邁進していきます。

安心安全な牛を提供

当社は長崎県南島原市の中心にある雲仙普賢岳の麓にあります。また、なだらかな地形に位置して、日当たりも良く、有明海から吹き上がる潮風が通り抜けるという自然環境にあります。

広大な敷地に、風通しの良いゆつたりとした高い天井の牛舎を設けて、より良い牛を肥育するためにストレスのない環境づくりを徹底しています。さらに牛が消化しやすいブレンド餌を使用することや、ICTを活用したスマート畜産を実践

することで牛の健康管理チェックを厳密に行って安全な牛の提供を可能にしています。

他にも牛舎敷料には一般的におがくずや稲わらが利用されていますが、当社独自の取り組みとして地元きのこ工場の菌床を一部再利用しています。

今後も衛生管理を向上させて安心安全な牛を提供するために、2020年に認証取得していた農場HACCP推進農場の再取得を目指しています。

環境問題に配慮した経営

農業・畜産業は牛のげつぷや水田から排出されるCH₄の化学肥料や堆肥製造から排出されるNO_xなど、CO₂以外の温室効果ガスとも関係が深いという特徴があります。

当社では2022年にTMRセンターを新設して、牛のげつぷから排出されるCH₄を抑制するために、牛が消化しやすい独自のブレンド餌を製造しています。また餌の原料にもこだわり、地元きのこ工場の菌床や、熊本県産のおから、佐賀県産の麦焼酎粕など九州産原料の再利用を行っています。廃棄予定のものを飼料として使用することで、エネルギーの循環型社会の構築に貢献しています。

さらに当社では家畜排せつ物の堆肥化についても、従業員の手作業によって堆肥舎で徹底した温度管理・保管を行い100%再利用しています。今後の肥育頭数の増加への対応や従業員の作業軽減を図るために、現在スクリー式攪拌発酵機を導入した新堆肥舎を増設しています。



TMRセンター内観

ダイバーシティ実現に向けた活動

当社では経理総務部が中心となって労働環境改善の取り組みを行っています。時間外労働などの各種規程を遵守することによって、全従業員が働きやすい職場環境を構築しています。従業員の中には勤続20年超の雇用者や60歳以上の雇用者なども在籍していて、一定の評価を従業員からも得られていると自負しています。

また外国人就業者についても、2012年にインドネシア人の技能実習生の受け入れを開始して、2024年には特定技能外国人の受け入れを行っています。

社会貢献・地域活性化活動

当社では事業を通じて、様々な地域活動に参加して、社会貢献・地域活性化活動に積極的に取り組んでいます。

長崎県内の大学農学部 of 農家等派遣研修受け入れや地元保育園の給食に当社の牛肉の寄付などを行っています。他にも当社の牛などを保育園に連れていき、子供たちとの触れ合いの場を設けることもしています。

今後も当社の成長と同様に長崎県内経済の

活性化、畜産業界の発展を目指していきます。

サステナブルファイナンス

十八親和銀行の「FFG」ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を利用

2024年8月に取引いただいている十八親和銀行有家支店にて、サステナブルファイナンス（FFG）ポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用いたしました。

本ファイナンスは、FFG独自のESG／SDGs評価サーベス「Sustainable Scale Index」による評価結果や国際的なインパクト算定ツールを基に対話を重ね、当社の活動が環境・社会・経済に与えるポジティブならびにネガティブな影響を分析・特定し、ネガティブな効果を低減しながらポジティブな効果を増大（KPIを設定）させることで、当社の持続的な成長につながるよう、十八親和銀行が中長期的な伴走支援を行う商品です。作成いただいた評価書は、当社ホームページ・十八親和銀行のホームページで確認できますので、ご覧いただければ幸いです。



高田紳次社長

「FFG」ポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、サステナビリティに関する目標を設定する必要があるりましたが、当社では「肥育頭数を250頭増加させる」、「農場HACCP推進農場を取得する」、「Nぴか認証を取得する」、「取引業者を10先増加させる」などの8つの目標を設定しました。こちらの目標を社内勉強会を通じて社員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈(左から 高田社長、十八親和銀行有家支店 富永支店長)

株式会社 高田牧場

■本社所在地：〒859-2203 長崎県南島原市有家町尾上3890

■電話番号：0957-82-5502

■事業内容：肉用牛肥育事業



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください